

展示概要

1975年に始まったコミックマーケット(コミケ)は、マンガの多様な表現、自主制作の同人誌発表の場を作り続けてきました。マンガのみならず文章、音楽、写真などさまざまな自己表現を包み込み、50年続いてきたこの同人誌即売会は、2025年12月の開催で107回を数えました。

50年の間には陰に日向に、1回1回の開催を繋いできた人々がおり、その痕跡は資料となって残されています。コミックマーケット創設者のひとりであり、第2代代表を長く務めた米沢嘉博氏の資料も合わせ、初期から現在までを貴重な資料から振り返ります。

会期日程

2026年2月27日[金]—6月15日[月]

コミックマーケット

コミックマーケットでは自主制作した冊子(同人誌)などを持ち寄るほかに、現在はコスプレや企業ブースなど参加者の楽しみ方も多彩。いち民間団体主催では日本最大級の屋内イベントであり、同人誌即売会としては世界最大の規模。海外からの参加者も多い。日本独自のマンガ文化を支えるゆりかごの役目を果たしている。

1953年3月21日、熊本県熊本市生まれ。明治大学在学中より批評集団「迷宮」の活動に参加。ライター・編集などを経て、マンガ評論を中心に大衆文化関連の評論を行う。1975年第1回コミックマーケット創設メンバーの一人。1980年から2006年までコミックマーケット準備会代表を務め、現在の同人誌即売会コミックマーケットの理念を形づくった。

米沢嘉博 略歴

展示品

- ・第2回開催のお知らせ
- ・コミックマーケット準備会発行物など
- ・第4回開催告知ポスター
- 〔動画〕 第107回カタログ表紙イラスト作画タイムラプス
- ・第27回ブロック長マニュアル
- イラストレーター：かんざきひろ

※2階閲覧室(一般利用有料)で、歴代コミックマーケットカタログ冊子版や関連資料を読むことができます



関連イベント

トークイベント

これまでのコミケ、これからのコミケ 一場を繋いだ50年—

【概要】—— マンガの多様な表現、自主制作の同人誌発表の場を作り続けてきた、同人誌即売会コミックマーケット。米沢嘉博記念図書館での展示に合わせ、転換期当時の感想、人々の集まる場を維持するキープポイント、変化、今後について関係者に聞く。

2026年4月18日[土] 14:30—17:00

【登壇者】—— 原田央男(コミックマーケット準備会初代代表)
安田かほる・筆谷芳行・市川孝一(コミックマーケット準備会共同代表)
里見直紀(コミケット広報担当)

【ごあいさつ・解説】—— 藤本由香里(明治大学国際日本学部教授)
森川嘉一郎(明治大学国際日本学部准教授)

【司会進行】—— みさき絵美(マンガ司書)

【会場】—— 明治大学駿河台キャンパス(東京都千代田区)

【参加】—— 無料／対面形式

【申込方法】—— 事前申込制／窓口は3月2日[月]開設予定
詳細は後日本展示WEBサイトおよび当館Xにて公開



QRコードをスキャンして
公式サイトへ